



戸田1年生、まちを行く!

第33回 戸田の空に、たこたこ、あがれ!



お正月の風物詩といえば、餅つき、書き初め…そして凧揚げ。最近のはのびのびと凧揚げができる場所が少なくなったが、彩湖・道満グリーンパークのこの広い空は、凧揚げには打ってつけ。お正月を前に、みどりパルではオリジナル凧づくりのイベントを開催しているらしく、今回親子で参戦してみることに! 凧づくり名人(!?)からレクチャーをもらうも、これがまた難しい。楽しいお絵描きタイムはあっという間に過ぎ去り、凧の土台となる骨、バランスの要

となる足をつくり、そして最後の難関、糸を張るところをなんとかクリアし(もはや大人が夢中)、ようやく完成! さて、これが果たして飛ぶのか、ドキドキの瞬間。凧揚げには、願い事を乗せて「天まで届けろ」という意味もあるとのこと。ここ数年、行事やイベントを我慢する日々が続く中で、それでも笑顔を絶やさずたくましく成長してきた子どもたち、今年はたくさんのご経験をして、素敵な年になりますように。さあ、願いよ、天まで届け!

注目したのはこのイベント!

和風をつくろう



とき 12月中旬
※その年により異なります

ところ 彩湖自然学習センター(みどりパル)

電話番号 422-9991

彩湖自然学習センターでは、季節に合わせて自然を活用したさまざまなイベントを行っており、お正月に向けて毎年12月に開催される和風づくりは開館当初から続く人気のイベント。和紙や竹ひご、ひも、新聞紙だけで、世界に一つだけの立派なオリジナル和風が作れます。つくった後は、センター周辺の広い敷地内で凧揚げができるのももちろん、丈夫なのでお正月以降も何度でも遊べます。澄んだ青空に、凧がぐんぐんと高く舞い上がる爽快感をぜひ体験してみてください。

参加者の声



凧づくりは初めてでしたが、2時間はあっという間で、とても面白かったです。次は連凧をつくってみたいです。

足の部分や吊り糸のつけ方が難しかったです。スタッフの方の丁寧な説明とサポートによって無事に完成できました。苦労した分、自分でつくった凧が揚がった時の感動は格別で、子どもたちもとても楽しんでいました。

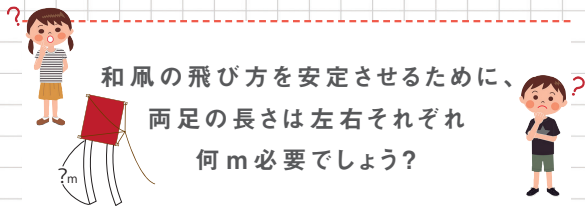


イラストレーター
アイヨウコ

埼玉県民。イラストレーター。小・中学生男子2児の母。家事に仕事に育児に毎日バタバタ過ごしています。親もはりきってしまう凧揚げですが、足がもつれ己の運動不足と加齢を再確認するイベントでもあります。準備運動大事!

こちら、とだっ子情報局

とだっ子情報局では、戸田にまつわる楽しい情報をクイズ形式でお届けします。今回は、彩湖自然学習センターで年末に実施している教室「和風をつくろう」についてのクイズです。



答えは①2~3m
(ホッキョクグマ1頭分)

和風の足は、左右それぞれ2~3mの長さにしており、絵を描いた本体のたての長さの3倍あるとよい



どんな絵柄がいいかな? 輪ゴムで留めた凧の足



とされています。みどりパルのオリジナル凧づくりイベントでは、①絵を描く ②竹ひごで骨をつくる ③紙で足をつくる ④糸を張る ⑤足を付ける の5つの手順で制作を進めていきます。左右のバランスを保ち、凧を上手に飛ばすためには、特に③で足の長さや横幅を合わせることが大事です。なお、この時期は空が澄んでいるため、彩湖越しの富士山がきれいに見えます。つくった和風を青空に飛ばしながら、富士山とのコラボレーションも楽しんでみませんか。

① 2~3m (ホッキョクグマ1頭分)

② 13m (ダイオウイカ1杯分)

③ 60m (トイレトペーパー1個分)